

第13回



絵・板垣柰々

街角ニュース vol. 11

修三さん作品を通じての輪、和。よい令和元年GW
をお過ごしください☆



4月14日、勢至公園で観桜会イベントが開催されました。イベント前日に開花宣言がされた当公園、この日は天候に恵まれ多くの花見客が会場を訪れ、咲き始めのソメイヨシノと観音瀧、そして鳥海山を背にして行われた金浦神楽、釜ヶ台番楽、にかほウィンドアンサンブルの演奏や超神ネイガーショーを楽しみ、春の訪れを感じている様子でした。



▲にかほウィンドアンサンブルの優雅な演奏

4月15日、狩野リツさん（平沢・大正8年生まれ）が100歳の誕生日を迎え、秋田市内の施設で市より祝状と祝金30万円が贈呈されました。

普段から会話の受け答えや記憶力がしっかりしているリツさんは、地元秋田のノーザンハピネッツが大好き。この日はハピネッツカラーのピンクのちゃんちゃんこをまとい、笑顔で記念撮影を行いました。



▲笑顔が素敵なリツさん。これからも未永くお元気でお過ごしください。

当選 佐々木 雄太氏

（34歳・自由民主党・現）
3月29日告示の秋田県議会議員一般選挙にかほ市選挙区では、佐々木雄太氏（畑）が無投票当選となりました（当選2回目）。



各種大会結果

第38回町内・職場対抗

▽
1
部

①平沢

②鳥の海A

③ 建石

2部

① 鳥の海
② SHON

③ ち
② S
H
C
M

○
●



3位以内を掲載。
①：1位（優勝）
②：2位（準優勝）
③：3位

「農業とわたしたちの暮らし」

3月25日、金浦公民館で秋田しんせい農業協同組合から市教育委員会へ補助教材「農業とわたしたちのくらし」の贈呈式が行われました。これは、同組合の「JAバンク食農教育応援事業」の一環で、農家、JA、農市の三位一体で農業を推進していくため、若い時から農業に関心を持つてもらおうと、市内4小学校5年生の児童全員に贈呈されたものです。

A photograph showing two men in dark suits and ties standing indoors. They are both smiling and holding a green and white book titled '農業とわたしたちのくらし' (Agriculture and Our Lives). The man on the left is handing the book to the man on the right. The background is a plain, light-colored wall.

「風が つなぐ 街・・・にかほ」

4月11日、にかほ市生涯学習奨励員協議会より、にかほ市イメージソング「風がつなぐ街・・にかほ」が市教育委員会に寄贈されました。まちづくりの一環として、市民が気軽に歌える曲はないかと、この日代表して齋藤教育長にCDを手渡した佐藤倉太郎さんが中心となって制作。

今後は、町内行事や各種イベント等の場で活用していきます。



鳥海山・飛島ジオパークリーコラム
く日本海と大地がつくる水と命の循環く



にかほ市文化財保護審議委員
齊藤 壽胤 氏

「春の祈り——鳥海山を
めぐる春と民俗」

鳥海山の春はまだ浅い。だが、やがて着実に春は訪れることを我々は知っている。春の慶びには、実はいくつも祈りが込められてきた。だからそれが叶う時、歓喜も一入なのだ。

春は遠からじといっても新春という正月初めには、先ず吹浦（遊佐町）大物忌神社では五日堂祭による年占管粥神事があつた。次いで、小滝（にかほ市）金峯神社では七日堂祭があり、いずれも古式豊かで神秘的な祭事が繰り広げられている。そこには五穀の豊凶を占ひ、その神意に従つて新たな気持ちで農事に取

り組もうとする心意気も備わっていた。

二月には初午稻荷祭がある。特に鳥海山北麓一帯では、穢れのない子どもたちが鳥海山神の獅子権現を奉じて御頭舞をして廻る巡幸神事である。この時、稻荷神を祭るのは鳥海山祭神と同一の信仰を見いだしているに他ならないのだらう。

四月の初め、鳥海山南麓ではやさら行事が盛んだ。平津（遊佐町）では巨大なわら人形を作り厄難をつけて村外れまで送り出し、樽川・中山（遊佐町）では小さなわら人形を川に流すというプリミティブな雛流しの民俗行事がみられる。やさらは春耕前に身体に影響ある悪霊を取り去り五穀豊穡に期待をかける祈りの現れでもあったのだ。

鳥海山の春は山麓に暮らす人びとの祈りが込められて山の雪解けをもたらすといつてよい。やがてその水は田畑を潤し、稲作で最も大切な田植えを迎えるのである。